

(1) 令和7年6月22日執行

# 東京都議会議員選挙(北区選挙区)選挙公報

(定数3人)

東京都選挙管理委員会

## 安心・安全・豊かな 東京を北区から創る!

- 「教育無償化の推進、子育て支援策の充実」など、次世代を安心して育める環境整備。
- 「駅エレベーター早期整備、介護予防、認知症対策」など、ご高齢者が元気に末永く暮らせる東京・北区の実現。
- 「コミュニティバス等の新規路線展開、住宅政策を充実」させ、快適に住み続けられる東京・北区へ。
- 「リスクリソース推進、介護・保育人材の集積推進」など、安心していきと暮らし、活躍できる東京・北区を実現。早大雄弁会出身 小渕元総理大臣スタッフ 現役世代の挑戦!
- 「DX、AI等の活用」で、東京を世界でNo.1の国際都市に。東京の労働力不足解消や、行政サービスの利便性を向上を実現。

北区生まれ北区育ち! 戸枝 大幸 プロフィール

1977年(昭和52年)北区生 己年48歳 子育て現役世代!  
上中里幼、滝野川第一小(現・田端小)、田端中、都立小石川高校卒  
2000年 早稲田大学法学部卒(雄弁会出身)  
故・小渕恵三元内閣総理大臣スタッフ、小渕優子衆議院議員スタッフ  
2003年 北区議会議員選挙にて初当選(6期連続当選)  
議会常任委員長、自民党議員団長等を歴任  
2008年 日本大学大学院経済学研究科博士前期課程修了  
2013年 北区議会議長(第67代・歴代最年少35歳時)



[各種SNSにて発信中!] <https://www.toeda.jp>



戸枝 大幸  
とえだ たいこう  
自民党

減税で東京を  
きとう直樹の約束  
取り戻す

私たちきとう直樹さんを  
応援しています!

阿部司 参議院東京選舉区支部長

吉村洋文 日本維新の会代表

政治を変える。未来を守る。

個人都民税50%減税の実現  
毎月6,400円があなたの手元に戻ります!

▶膨れ上がった東京都の税収を都民の皆様に還元します

▶あなた自身が使い道を決められるお金を取り戻します



日本維新の会公認  
きとう 41歳 なおき 直樹

きとう直樹はこんな人

1983年生まれの41歳、2児の父親  
早稲田大学政治経済学部卒業  
住友不動産で都市開発

日本M&AセンターとSBI地域事業承継投資で中小企業支援

日本維新の会公務調査会で政策立案

北区で子供たちに体操指導しています!



あなたの声を聴く、  
あたらしい東京・北区へ。

5つの方針  
(抜粋)

1 誰も孤独にさせない、  
おせっかい東京・北区  
・人生100年時代、いくつになっても「自分らしく暮らせる」サポートを充実  
・障害者や難病患者、LGBTQ等の方々が自分らしく働ける東京



現職 東京都議会議員 行政経験15年・2児の母

こまざき 美紀みき 46歳

基本方針

- 多選の禁止: 1期4年を集中して仕事をやり切る。次の選挙を考えて仕事をする議員はどんなに優秀だとしても、任期中の実績を優先して長期ビジョンの仕事はおろそかになる。
- 是々非々: 現状の国政政党の集票マシン、下請けとしての都議会運営は個々の議員の能力発揮を阻害し、党議拘束の言いなりの能力のない議員を隠蔽している。個別の議案を自分自身が是々非々で判断できない数合わせの議員には去ってもらおう。

やりたいこと(誰もやらなかった必要なことをやる)

①再生事業: 2030年には東京都も人口減少とともに税収減に向かう、それを補うために都の所有資産を有効利用して将来的に収入を産む施策が必要と考える。東京を中心とした関東圏から排出される多くの資源を再利用する都市鉱山産業を多摩地区に興し、多摩格差を是正する。まず太陽光パネルのリサイクル事業で経産省の補助金と廃棄積立金を利用できるよう進める。

②防災意識再確認: 令和元年の19号台風を超える暴風雨が襲来した時、北区岩淵水門界隈の荒川の氾濫可能性は激増する。また、首都圏が去年を超える猛暑となれば東京大停電が更に現実味を帯び、それに追いつき打をかけるよう都の水道基本料無償化補正予算が提出された。身を守る為に各自何ができるか再確認をする。

各戸にポータブル電源購入の補助金を支給する。

③外国人問題可視化: 国民人口の減少に伴うGDP低下に対応するために、外国人優遇策が国策のごとく推進され、既に北区においても外国人の増加は止めることはできず、共存方法を模索する段階に入っている。災害時の混乱から外国人を守るためにも、外国人コミュニティの実態をデータ化する必要がある。2025年国勢調査の有効利用を希望する。

④都と区の予算配分の透明化: 北区王子駅前の再開発事業が停滞しているのは区の予算が足りないため。北と北の老朽化建替えも同じ理由で頓挫している。都の潤沢な予算がなぜ区に届かないのか、都も区も予算を利用した集票行動があるのではないかと疑われないように、都と区との予算配分の透明化を実現する。

大場のりあ  
無所属  
66歳

(この選挙公報は、東京都議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例(昭和38年東京都条例第3号)第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

投票日 6月22日(日)  
投票時間 午前7時から午後8時まで

仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、期日前投票ができます。

・期日前投票期間

6月14日(土)~6月21日(土) 午前8時30分から午後8時まで

・期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など

(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは、区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

# 東京都議会議員選挙(北区選挙区)選挙公報

(定数3人)

東京都選挙管理委員会

もう政治に馬鹿なことはさせない  
東大ネギが教育から  
経済を変える

教育水準を上げる・いじめをなくす

優秀な人材を地域行政で就職採用。地域終身雇用制導入

優秀な指導者の採用が優秀な人材を育てる

財源は条例で作る! 東京観光税の導入

東京訪問者数683万人(2024年4~6月調べ)

(例) 東京来訪者1名につき東京観光税1円と仮定

683億円(3ヶ月データ)を基準に新たな財源を年間で概算

違法観光客による被害の防止と優良観光客へのサービスの向上を目的

関連事業への投資に使用する

ストップ! 違法観光客 血税は日本のために

多発する性犯罪・高齢者被害を防ぐ

飛鳥山公園前『たこ課長』で街と共に

東大卒のたこ焼き屋

東京大学工学部卒。翻訳オフィスG-TRANS代表。宅地建物取引士。X: @misako\_sakano



さかの  
みさ子  
44歳  
無所属

## 消費税 廃止をめざし いますぐ 減税

住めるくらせる東京に

市民と野党の  
共同候補  
社民党・新社会党  
推薦

物価対策の決定打、消費税の減税の道を東京から切り  
開きます。医療・介護・保育の最前線で働いてきた経験  
を生かし、都民の暮らしと営業をしっかりとサポートして、  
誰もが安心して住める、くらせる東京をめざします。



日本共産党  
せいの恵子  
清野  
けいこ

### 01 医療・介護を守りぬく

■ 国民健康保険料、後期高齢者医療保険料を1人3万円引き下げ。18歳までは無料に

■ 都として介護・障害福祉事業所へ緊急支援

### 03 ジェンダー平等の実現を

■ 年齢・発達にそした包括的性教育の実施を

■ 女性にとって最も身近な性犯罪である痴漢の根絶

へ、さらなる対策の強化を

### 02 賃上げ・子育て応援

■ 賃上げへ、1人12万円の中企業支援。公契約条例を創設し都の発注で働く労働者の賃金を底上げ

■ 学用品・制服・修学旅行の無償化、通学定期に補助

### 04 住み続けられる東京に

■ 住民合意のないまま駅前にタワーマンションを呼び込む市街地再開発計画は抜本的に見直しを

■ 100万世帯へ月1万円の家賃補助。固定資産税の軽減

#### ヤングケアラー支援

介護する子ども、ヤングケアラーの問題を区議会で初めて取り上げ質問。支援・調査の実現に道をひらく。

#### 看護師・保健師

医療・介護のエキスパート

#### 生理用品の無料設置

「生理の貧困」が広がる中、生理用品の無料設置を提案。区役所や区民施設、区立小中学校に設置が実現。

#### ホームページ

【プロフィール】●滝川第三小、滝川中、都立向丘高卒 ●文京区役所勤務を経て和光大、都立看護専門学校に学び看護師に。都立豊島病院精神科勤務のち千葉大に編入学、保健師の資格を得る ●民間病院、台東区役所等に勤務、医療・介護・保育の現場で働く ●区議2期。健康福祉副委員長など歴任。保護司としても活動 ●家族は夫と2女。趣味は読書、歌うこと、手織り。



おおまつ  
大松あきら  
公明党公認



小澤正人  
おざわまさと  
自治労と自治労連から国民を守る党公認

自治労問題という  
誰も触れられなかった  
タブーに切り込む!

3つの重点政策

- 1 労働組合に入りたくない地方公務員の権利を守る
- 2 役所内で労働組合事務所を無償利用する特權廃止
- 3 公務員の政治的行為の制限を設ける条例制定

自治労と自治労連から国民を守る党とは?

全日本自治団体労働組合(自治労)は、全国の地方公務員が加入する組織で、日本労働組合総連合会(連合)の主要組合です。また、日本自治体労働組合総連合(自治労連)は、全国労働組合連絡協議会(全労連)の主要組合です。大まかには、自治労は立憲民主党を支持する最大の組織、自治労連は日本共産党とのつながりがあります。

戦後、GHQの労働組合育成の方針により、全国の自治体で組成され、多くの労働組織と同じく分裂・再編をたどる中でも、組織からの国会議員を輩出し続け、議会や首長への政治的影響力を維持し続けていることが、行政を歪める根源になっていると考えられています。

これらの組織が及ぼす政治的影響を排除することで行政サービスを改善し、国民を守る目的で、自治労と自治労連から国民を守る党を創設いたしました。

詳しい問題点や政策、各種調査結果は右記二次元コードよりホームページをご覧ください。



党代表 参議院議員 浜田聰

(この選挙公報は、東京都議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例(昭和38年東京都条例第3号)第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

投票日 6月22日(日)  
投票時間 午前7時から午後8時まで

仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、期日前投票ができます。

・期日前投票期間

6月14日(土)~6月21日(土) 午前8時30分から午後8時まで

・期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など

(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは、区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)